

令和6年度（2024年度）

事業報告書

（法人理念）

『常に障がいのある方の人権を守り、安心・充実した日々の暮らしができるよう事業運営を行います』

（法人の基本方針）

- 1 利用者が尊厳をもって暮らしていける環境を整えます
- 2 利用者やその家族と職員が強い絆で結ばれるよう努めます
- 3 地域に根ざした事業を運営し、その地域で信頼されるよう励みます
- 4 他法人とも積極的に連携し、共に学び成長できるよう図ります
- 5 福祉のこころを常に確かめ合い、専門性を有した人材を育てます
- 6 法令順守に努め、健全で質の高い経営を行います

令和7年6月19日

社会福祉法人 四幸舎和会

法人本部事業報告

【令和6年度の総括】

全事業所において、日々感染症予防を徹底してきました。6月、7月、8月にくりのみ園スタッフのコロナ感染が確認されましたが、利用者へのコロナ感染、クラスター発生はありませんでした。しかしながら、年明けの1月7日、くりのみ園利用者数名が季節性インフルエンザに感染し、感染力が広がったため全ユニットの行動制限を約2週間行いました。スタッフも次々に感染していくため、未感染のスタッフが勤務の穴を埋めるなどスタッフの疲弊感は蓄積していく状況にありました。

コロナ禍から続くスタッフの疲弊感や利用者の重度・高齢化による支援負担度の高まり等の影響から、メンタル疾患で休職するスタッフや休職までには至らないが数日間休むスタッフが出るなど、くりのみ園において利用者支援を支えるスタッフ体制の維持に苦慮しました。6年度も他事業所から応援スタッフを出してもらい、オールくりのみ体制でなんとか乗り切った年度でした。中途採用も年度を通して、複数の求人サイトを活用したが人材確保にはつながらず、全事業所において人員配置の維持に苦慮した年度でした。

1 令和6年度 運営方針の報告

(1) 報酬改定に基づいた資金計画を立案していく

令和6年度は障害福祉サービス等の報酬改定がありました。『生活介護』がサービス提供時間に応じた報酬体系となったため、くりのみ園を含む4か所の生活介護事業所において、サービス提供時間をマネジメントすることに努めました。また、一定の条件（中核的人材養成研修受講終了など）を満たし重度障害者支援加算を充分に取得できたので、法人全体の事業活動収入は増額しサービス活動増減差額もWAM平均（1.55%）を上回る9.2%と収益性が向上しました。

(2) 評議員の改選

評議員改選年度で、7名のうち2名の評議員から退任の申し出があり、令和6年5月1日に第4回評議員選任・解任委員会を開催し、新任2名を加えた評議員（7名）を選任しました。また、理事6名の内、2名の理事選定を行い、書面評議員会で選任しました。

(3) 第Ⅲ期事業計画の推進

① 池田・豊中エリアの事業計画

共同介護事業所のセブン&チェリー作業所の移転に関しては、適当な物件が見つかりませんでした。

8月に共同生活援助事業『ロジェ』利用者が、窃盗容疑（無施錠の車から現金等）で取り調べ（池田警察署）を受けました。罪には問われなかったが、休日等の過ごし方についてスタッフと確認しました。ロジェにおいて、防犯や利用者の事故等を検証するため棟内・外にカメラ4台を設置しました。設置にあたっては、利用者本人、家族、保佐人の了承を得て進めました。

② 能勢エリアの事業計画

法人内で、倉垣ホーム（仮称）立ち上げ委員会を立ち上げ、建物の仕様や支援の内容について検討しました。

令和7年1月1日に倉垣ホーム（仮称）建設について、住民説明会（長尾区）を行いました。当日出た意見については、後日書面で回答するなど丁寧に対応しました。建築確認申請等で修正を求められ着工が遅れていますが、令和7年10月着工、令和8年4月又は6月開設に向け進めていきます。

(4) 人材確保・育成・定着を図る

人材確保については、学卒採用委員会の若手スタッフを中心となり活動しました。継続して出展をしているFACE to FUKUSHI の就職フェアに加えて、マイナビ、大阪府社会福祉協議会の就職フェアも活用し、結果3名（男性2名、女性1名）の採用につなげました。一般企業の採用意欲の上昇や内定の早期化、賃金上昇などの当法人にとって苦戦する状況がある中、一定の成果を上げたと思いますが、次年度以降も一層の努力が必要と認識しています。

【FACE to FUKUSHI を中心とした人数の動き】

（表一）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
FACE to FUKUSHI インターンシップフェア	17名	34名	34名	35名	14名
FACE to FUKUSHI 就職フェア 接触数	44名	49名	25名	37名	43名
採用応募者数	4名	2名	3名	6名	7名
内定承諾者数	3名	1名	1名	4名	5名
入職数	3名	1名	1名	3名	5名

また、前年度に引き続き、大阪人間科学大学と協力して学生に障がい福祉現場をリアルに体験してもらう取り組みを継続しています。前年度のおおざとの赤いやねとかたやまの赤いやねでのイベント開催から法人内事業所へ拡大しながら学生の受け入れを行ってまいりました。引き続き、今後の障がい福祉や法人の認知向上につなげるよう取り組みます。

人材の育成・定着については、川崎医療福祉大学小田桐先生の協力を得て法人の核となる人材育成に努めました。中心的な人材が育つことにより、若いスタッフを育て、定着につなげるという良い循環をつくれるよう法人として全力で取り組んでいきます。

(5) 社会・地域貢献に積極的に取り組む

社会福祉協議会の配食サービスをくりのみ園（毎週月曜日）、おおざとの赤いやね（隔週火曜日）が継続して行いました。

能勢町から委託を受けている地域CSW活動（田尻地区と久佐々地区）を担当し、地域のニーズに応え（表一）のとおり生活困窮レスキュー事業へ繋がりました

また、能勢町の居場所づくり事業は、“のせ子ども食堂”に参画し、夏休み期間中に3家族9名の利用がありました。

(表一2)

生活困窮レスキュー事業（大阪しあわせネットワーク）の対応実績			
①	6月	男性（60歳）	精神障がいがある方。離職してから生活困窮になり、食料品、水光熱費の支援を行い、その後、就労支援を行った。
②	1月	女性（46歳）	水光熱費を滞納され明日にも電気を止められる状況にあったので、電気代の支払いを行った。

2 職員動静について

4月1日に法人採用（新卒者1名）し期首職員数（正規職員）は43名で、年度内に3名が退職（自己都合による者3名）し離職率は6.9%となりました。過去5年間の離職率の推移は、(表一3)のとおりです。

(表一3)

年度	期首職員数	退職者数	離職率
R2	36人	1人	2.7%
R3	43人	3人	6.9%
R4	43人	2人	4.6%
R5	44人	2人	4.5%
R6	43人	3人	6.9%

*参考(令和5年度介護労働実態調査)：
介護職離職率 13.1%

3 理事会・評議員会の開催について

第8回定時評議員会を6月に開催し、理事選任の書面評議員会も行いました。また、理事会は4回開催しました。議案の内容は(表一4)、(表一5)のとおりです。

【評議員会】

(表一4)

会議名	日時	議案等の内容
第8回 定時評議委員会	令和6年 6月20日(木)	第1号議案「令和5年度事業報告書(案)の承認」について 第2号議案「令和5年度決算報告書(案)の承認」について 令和5年度社会福祉充実残額の承認 ・監事監査報告(令和6年5月16日) 第3号議案「Hさん受傷事故の損害賠償請求」について 第4号議案「倉垣ホーム(仮称)の進捗状況及び土地購入等」について その他 ・評議員選任・解任委員会(令和6年5月1日開催)の報告 ・利用者状況等について

(書面) 評議員会	令和7年 1月24日	第1号議案「理事の選任」について その他 ・第9回定時評議員会の開催日程(案)について
--------------	---------------	---

【理事会】

(表-5)

	会議名	日時	議案等の内容
第1回	理事会	令和6年 6月5日(水)	第1号議案「令和5年度事業報告書(案)」について 第2号議案「令和5年度決算報告書(案)」について 令和5年度社会福祉充実残額の報告 監事監査報告(令和6年5月16日) 第3号議案「Hさん受傷事故の損害賠償請求」について 第4号議案「就業規則及び賃金規程の一部改訂」について 第5号議案「倉垣ホーム(仮称)の進捗状況等」について 第6号議案「第8回定時評議員会の開催日程及び上程議案等の承認」について その他 ・評議員選任・解任委員会(令和6年5月1日開催)の報告 ・利用者状況等について
第2回	理事会	令和6年 10月24日(木)	第1号議案「令和6年度補正予算(案)」について 第2号議案「新規採用に係る人件費積立金の取崩し」について 第3号議案「Hさん側からの損害賠償請求の進捗」について 第4号議案「倉垣ホーム(仮称)の進捗状況等」について その他 ・理事長の職務報告 ・利用者及びスタッフの状況について
第3回	理事会	令和7年 1月23日(木)	第1号議案「理事の選定」について 第2号議案「事務長定年後の処遇等」について 第3号議案「倉垣ホーム(仮称)住民説明会」及び「倉垣ホームの建築費の一部を法人負担する件」について その他 ・Hさん損害賠償請求の進捗状況について ・利用者及びスタッフの状況について ・3月以降の理事会、監事監査等の開催日程(案)について

第4回	理事会	令和7年 3月21日(金)	<p>第1号議案「令和7年度事業計画(案)」について</p> <p>第2号議案「令和7年度当初予算(案)」について</p> <p>第3号議案「役員等賠償責任保険契約の内容決議」について</p> <p>第4号議案「ローテーション手当の新設」及び「賃金規程の改定」について</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員会(令和7年3月10日開催)の報告 ・倉垣ホーム(仮称)の進捗状況について ・地域連携推進会議の開催に向けて ・利用者、スタッフの状況等について
-----	-----	------------------	---

4 法人委員会の取組

各委員会の取組み及び公開講座・実践報告会の内容は、(表-6)、(表-7)のとおりです。

(表-6)

法人研修委員会	(開催) 毎月1回	<p>目的「法人事業所・スタッフのスキルアップを統括する」</p> <p>コンサルテーションの進捗管理。また、実践報告会、新人研修、連続講座など法人研修プログラム(アサーション研修等)を企画運営した。</p>
事故防止委員会	(開催) 7月、10月、 1月	<p>目的「各事業所の安心・安全な運営をめざす」</p> <p>各事業所の事故、ヒヤリハットを検証しフィードバックを行った。事故防止に係る法人研修を企画した。喉詰め事故や服薬関係の事故について検証を行うとともに、各事業所へフィードバックを行った。</p>
虐待防止・身体拘束適正化委員会	(開催) 6月、9月 12月	<p>目的「利用者の人権を守り、虐待や不適切な支援を起こさない組織や事業所をめざす」、「不適切な身体拘束がないがチェックしていく」</p> <p>スタッフ自己評価による不適切な支援(グレーゾーン)への意識向上を図るとともに、身体拘束適正化に(行動制限の件数や記録等)向け取り組んだ。また、各事業所において人権・虐待防止研修を開催するよう助言等を行った。</p>
非常対策委員会	(開催) 5月、8月 11月、2月	<p>目的「防災等に備え事業継続できる体制を構築する」</p> <p>年度初めに各事業所の備蓄管理の点検を行った。感染症対策を含むBCP(事業継続計画)研修が各事業所で行われるよう、意見交換を行った。安否確認訓練を大阪府880万訓練(9月)と併せて行うなど年2回実施した。</p>
学卒採用委員会	(開催) 毎月1回	<p>目的「新規学卒者の人材確保に努める」</p> <p>F2F 福祉フェア等へ参加し法人説明会へ誘導した。福祉の就職総合フェアへも続けてブース出展した。大阪人間科学大学学生のフィールドワークの場として行事に参加に誘導した。内定者3名へのフォローアップ(研修会、座談会、内定式)を行った。</p>

(表一7)

第11回社会福祉法人 四幸舎和会 公開講座・実践報告会 と き：令和6年11月30日(土) ところ：池田市立市民活動交流センター
講座1『意思決定を支える支援』 講師：小田桐早苗(川崎医療福祉大学)
講座2『PECSで支える意思決定支援とその実際』 講師：奥村一貴(南山城学園)
実戦報告①『意思決定支援 一当事者の個別支援会議への参加を考える一』 報告者：高田まり(おおざとの赤いやね)
実践報告②『PECSの活用を進める 一楽しい!を見つけよう一』 報告者：岡本昌典(かたやまの赤いやね)